



焼板工作

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 工夫しながら創作する喜びを味わう。
- 活動の思い出となる手づくりの記念品を作り上げる。

2 活動の概要

乾燥した杉板材を焚き火で焼き上げ、たわしで磨き、素朴な木工品を作る活動です。布で更に磨いた後、絵の具で文字や絵を描き、思い思いの作品に仕上げることができます。

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校4年生以上
- (3) 期間 4月～11月
- (4) 時間 2～3時間（説明30分+活動90～150分）
- (5) 場所 キャンプセンター
- (6) 経費 125円／1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行います。



<作品例>





3 準備物

| | |
|------|---|
| 団 体 | 救急薬品 |
| 個 人 | 汗拭きタオル、軍手、布きれ、作品を入れるビニール袋、汚れてもいい服装 |
| 自然の家 | 材 料：杉板、ヒートン（2個）、ひも、絵の具 用 具：火ばさみ、亀の子たわし、絵筆、筆洗いバケツ、パレット、パレット洗いたわし、キリ、ゴミ箱 その他：薪、着火剤、ライター |

4 引率者の役割分担

| | |
|--------|-------------------------|
| 代表責任者 | 1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。 |
| かまど担当者 | 数名。かまどの火の管理及び製作補助を行う。 |
| 用具担当者 | 1～2名。用具の配付、管理及び製作補助を行う。 |

5 活動の流れ

| | 内 容 |
|-----|---|
| 説 明 | <ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明 服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手・汗ふきタオル）について説明 |
| 活 動 | <p>①杉板を焼く。 表裏面、側面まで焼き上がったら火ばさみではさんだまま、たわしがけの場所まで移動する。</p> <p>②たわしで木目にそってこすり、ススをおとす。 ※側面や板のくぼみもていねいにこする。</p> <p>③古布でみがいてつやを出す。</p> <p>④ヒートン・ひもをつける。 ※ヒートンが入らないときは 錐で小さく穴を開け、その穴 に入れる。</p> <p>⑤絵の具で絵や文字をかく。 ※絵の具は水でうすめず、使用する。</p>     <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>※穴が大きすぎると、ヒートンが空回りしてすぐ取れてしまう。</p> </div> |
| まとめ | <ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ 絵筆やパレット等は絵の具を落とし、水気をふき取って返却する。 |

6 実施上の留意点

- 2週間前までに、製作数を自然の家に連絡する。
- 活動時間の設定は移動時間を加味した余裕のあるものとする。（自然の家からキャンプセンターまで徒歩約10分）

7 安全に実施するためのポイント

- 火や焼けた板を扱うときは、やけど防止のため、肌を露出しないように注意する。（長袖・長ズボン・帽子・軍手・汗ふきタオルの着用など。）
- 移動時は「焼板通ります。」と周囲に声がけし、やけどを防止する。
- かまどの周りに用具や薪を散乱させておかないように注意する。

